PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 61012534 A

(43) Data of publication of application: 20.01.86

(51) Int. CI

B65H 1/18 B65H 3/06 // G03G 15/00

(21) Application number: 59130031

(71) Applicant:

TOSHIBA CORP TOSHIBA AUTOM EQUIP ENG LTD

(22) Date of fling: 28,06,84

(72) Inventor:

8EGAWA HIROYUKI

(54) PAPER FEEDER

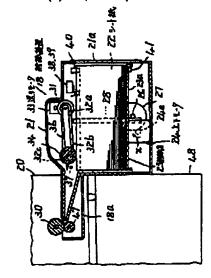
(57) Abstract:

PURPOSE: To enable the sure feed of paper, by performing control to inhibit the movement of a paper rest during the drive of a send-out roller even if the paper is below a prescribed level, so as to prevent the paper from being skewed, damaged and jammed.

CONSTITUTION: A send-out roller 34 is rotated through a controller to send an uppermost sheet of paper 22 to a paper feed roller 30. When sequential feeding is performed according to a paper feed signal until the uppermost sheet of paper 22 reaches a position shown by a dotted line in the drawing, a second sheet detection switch 39 is turned on to generate a paper rest drive signal and apply it to the AND circuit of the controller. Regardless of the paper rest drive signal, no input is applied from an inverter while the paper feed signal is generated, so that no output is sent from the AND circuit. For that reason, a motor 24 for vertical movement remains at a standstill. When the generation of the paper feed signal is stopped, an output is sent from the AND circuit so that a paper rest 23 is moved up by driving the motor 24. The contact of the send-out roller 34 with each sheet of paper is thus

stabilized to prevent it from being skewed.

COPYRIGHT: (C)1986, JPO& Japio



⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭61-12534

Mint Ci 4

触別記号

309

庁内整理番号

@公開 昭和61年(1986)1月20日

1/18 B 65 H 3/06

// G 03 G 15/00

7456-3F 7456-3F 6691-2H 審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

の発明の名称 給紙装置

> 2)特 昭59-130031

23出 囲 昭59(1984)6月26日

70条 明 者 Ш 洋

東京都大田区東矢口1~5~2

の出願人 株式会社東芝 川崎市幸区堀川町72番地

の出 願

東芝自動機器エンジニ

川崎市幸区柳町70

アリング株式会社

四代 理 人 弁理士 井上 一男

発明の名称

給紙裝置

2. 特許辦求の範囲

ジャート紙を収置して昇降する用紙台と、この用 紙台に載量されたシート紙が所定位置にあるとと を検出する検出手段と、この検出手段検出結果に 応答し前記用紙台を所定位置に保持するために用 紙台を昇降させる駆動手段と、この駆動手段によ つて所定位置に保持されている前間用紙台に敷置 された用紙を給紙する給紙手段と、この給紙手段 の動作中に前記駆動手段による駆動を禁止する制 御手段とを具備したことを特徴とする給紙装置。

3. 発明の詳細な説明

[発明の技術分野]

:との発明は、たとえば電子写真装織等の面像形 成装置において、シート紙を大量に連続供給可能 な給紙装置に関する。

[発明の技術的背景とその問題点]

近年面像形成装備の高速化あるいは高性能化に

伴い、本体に着脱可能を鉛紙装置として、 紡 4 図 に示すようないわゆる大容量の給紙装置が多用さ れている。即ち従来にあつては大容量の給紙裝置 例は、本体的からの給紙借号に応じて送り出し口 ーラ的を駆励し、シート紙餌を本体側の給紙ロー ラ04に供給する一方、シート紙検出スイッチ60の 作動により、シート無時の最上位が点観で示す位 世以下になると、用紙台(f)を上方に移動させる事 により、所定範囲内の高さて、送り出しローラ02 によりシート紙間を供給するものである。

しかしながらとの装置にあつては、送り出し口 ーラ43の状態にかかわらず、シート低検出スイッ ナ00が作動されると、直ちに用紙台切が移動され てしまり事から、送り出しローラ切が駆動中であ つても、用紙台師が上方に移動される事が多々生 じている。しかもとのような用紙台町の移動中に 行なわれる送り出しローラ03によるシート紙03の 供給は、送り出しローラ03が点線で示す位置から 実験で示す位置迄移動されつつ行なわれる事とな り、シート紙筒と送り出しローラ02の接触状態が

非常に不安定となり、シート紙(3)がスキューされ、 供給中に折曲されたり、更には紙づまりを生じて しまりという欠点を有している。

[発明の目的]

との発明は上記事情にもとづいてなされたもので、シート紙の供給に伴い用紙台を移動してシート紙の数上部を一定の高さ以上に保持させると共に、シート紙に対する送り出しローラの接触状態を常時安定にし、シート紙のスキューひいてはシート紙の損傷更には紙づまりを防止し、シート紙を確実に供給する事が出来る給紙装置を提供する事を目的とする。

[発明の概要]

この発明は上配目的を達成するために、用紙が一定の高さ以下であるのにかかわらず、送り出しローラの駆動中は用紙台の移動を禁止するよう制御する制御手段を設ける事により、シート紙のスキューを防止したものである。

[発明の実施例]

以下との発明の一実施例を第1回ないし第3回

(3)

第1図点般にある事を検出しその検出結果である 用紙台駅助付号のオン信号を発生する最上部検出 手段を構成する第2のシート紙検出スイッチ四並 びに、用紙台図の上限位置を検出する上りミット スイッチ側更には、用紙台図の下限位置を検出す る下リミットスイッチ(のが取着されている。又、 (2) は本体似及び給紙装置がの制御を行をう制御装 世であり、本体例のコントロールパネル似上のロ ーラ検出手段でもあるプリントポタン (43m) O作 動に応じて発生される検出結果である給紙倡号が 入力されるインパータ44及び、このインパータ40 の出力を第2のシート紙検出スイッチ例の作動に より発生される用紙台駆動信号とが入力されるA ND回路船を有し、上下モータ四及び送りモータ 図の駆動を行なりものである。尚 (21a) はドア。 (23*) は第1のシート紙検出スイッチ倒に対応さ れる切欠、似は押圧ローラ、傾はキャピネットで **30 5** 6

次に作用について述べる。ブリントポタン(43a) の作動により複写が開始され、給紙のタイミング

を参照しながら説明する。シート紙案内部(18a) を介し本体のに排脱可能な給紙を配納の筐体の内 にはシート紙図を載量する用紙台図が収納され、 この用紅台口には、上下モータ四及び、上下モー タ21のシャフト (24≥)に歯合し、ビニオン殴と同 軸の第1の放速ギア切が取着されている。又、筐 体20両側にはピニオン例と歯合するラック例が設 けられている。とれらが、駆動手段を構成する。 一方シート紙図を本体図の、鉛紙手段としての給 紙ローラ切に供給する世体の上方にあつては、第 2 の放速ギア(3) 更には第1 のブーリ(32=) 及びエ ンドレスペルト (32b) 並びに第2のプーリ (32c) を介して送りモータ間により駆動される送り出し ロータのが、アームのに支持され揺動可能に設け られている。但し例はアーム例の下がり過ぎを防 止するストッパーである。更に個体の偶壁には、 シート紙(20の最上部が第1)図実線にある事を検出 しその検出結果である用紙台駆動信号のオフ信号 を発生する最上部検出手段を構成する第1のシー ト紙検出スイッチ関及び、シート紙図の最上部が

(4)

に応じて給紙信号が発生されると、給紙装置傾に あつては、制御装置似により送りモータ間が駆動 され、送り出しローラのが囲転され、最上部のシ ート紙図を始紙ローラ切に供給する事となる。そ して給紙信号に従い最上部のシート紙口が第1回 点線で示す位置に進する迄裏次供給されると、第 2 のシート転検出スイツテ砂がオンされ、用紙台 駆動信号が発生されて制御装置個の AND 回路級 に入力されるが、との用紙台彫動信号にかかわら **ず、給紙信号が発生される間はインバータ40から** の入力が無いのでAND回路網が出力されず、上 下モータのは停止されたままとされる。そして給 紙信号が停止されると、 AND 頭路船が出力され、 上下モータのの矢印×方向の駆動により、ラック 関に歯合するピニオン図の団転に伴い用紙台凸が 上方に移動される事となる。即ち第8図に示すよ うに給紙借号のオン、オフに伴い、上下モータOV がオン,オフを繰り返えす間にシート紙図の最上 即が第1回実験で示す位置に到達されると、用紙 台駆動信号を停止させる第1のシート紙検出スイ

特開昭61-12534(3)

ッチ側がオンされ上下モータ四は停止される。 そ 1. てシート紙四の供給に伴い新たに第2のシート 紙検出スイッチ間がオンされる迄上下モータ図即 ち用紙台切は停止されたままとされる。更に、こ のようにしてシート紙図が順次供給されると共に 用紙台筒が上方に移動され、シート紙筒が全て供 始されてしまうと、用紙台図により上りミツトス・ イッチ級がオンされ、制御装置似により、コント ロールパオル(日上に「シート紙補給」が表示され る事となる。とれに応じてオペレータがドア(212) を開けると、制御装置似により上下モータ内が矢 印×方向と反対方向に駆動され、用紙台間が下方 に移動される。そして用紙台間により下りミット スイッチ(のがオンされると上下モータ(が即ち用紙 台口が停止され、シート紙切の補給が可能となる。 そしてシート紙砂補給扱、ドア(21*)を閉め、新 たに彼写を開始する事となる。

との様に構成すれば、制御装置的により、用紙台駆動信号が発生されていても、送り出しローラ 840 の駆動時には用紙台跡が静止されており、最上

(7)

ト紙の節約あるいはメンテナンスの軽減が図られ、 接触の経済性及び信頼性が向上される。

4. 図面の簡単な説明

第1 図ないし第3 図はこの発明の一実施例を示し第1 図はその断面図、第2 図はその一部省略ブロック図、第3 図はその送りモータ及び上下モータのタイミングテヤート、第4 図は従来の装置を示す断面図である。

18 -- 给紙袋量

21 … 筐件

22 … シート 紙

23 … 用紙台

24 … 上下モータ

26 -- ピニオン

28 … ラック

.30 … 給紙ローラ

...

33…送りモータ

34 -- 送り出しローラ

38 - 第 1 の シート紙検出スイッチ

39 -- 第2のシート紙検出スイッテ

43* … プリントポタン

44 ... 1 2 2 2 - 8

46 --- A N D 回路

代理人 弁理士 井 上 一 男

位のシート紙図に対して送り出しローラCMが安定に接触される事から、給紙ローラCMへの供給時シート紙図がスキューされる事が無く、ひいてはシート紙の損傷及び紙づまりが防止される。

尚との発明は上記実施例に限定されず程々設計変更可能であり、例えば制御装置は、給紙袋置倒の制御のみを行なりものであつても良いし、その構造もロジック回路を用いたもので無く、マイクロコンピュータを用いる等任意である。又、シート紙の最上部を検出する方法も限定されず送り出しローラを支持するアームの角度により検出する等しても良い。

[発明の効果]

以上説明したようにこの発明によれば、送り出しローラによるシート紙供給中は、用紙台ひいては用紙台に載量されるシート紙が必ず静止された状態である事から、シート紙に対する送り出しローラの接触が安定され、従来生じていたスキューが防止されるので、これにより従来生じていたシート紙の損傷あるいは紙づまりが解消され、シー

(8)

